

令和2年度 市町村職員向け発達障害関係研修について

▶ 〈目的〉

第3期沖縄県発達障害者支援体制整備計画の重点課題において、「各分野における支援人材の育成」が設定されており、市町村相談窓口の充実についても明記されている。

当該研修は、発達障害者の基本相談窓口となる市町村職員に対して、障害特性や対応方法等の研修を実施することによって、相談窓口機能の充実を図ることを目的としている。



令和2年度 市町村職員向け発達障害関係研修について

▶ 〈実施方法の検討〉

新型コロナウイルスの影響を考慮し、今年度はオンラインでの動画研修として実施した。

▶ 〈実施内容〉

○ 研修（視聴）期間

令和2年10月9日（金）～11月13日（金）

○ 対象

各市町村（障害福祉主管課、児童家庭主管課、母子保健主管課）の職員

○ 申込人数

14市町村、66人

令和2年度 市町村職員向け発達障害関係研修について

＜研修内容＞

- 1 沖縄県発達障害者支援体制整備計画について（沖縄県障害福祉課）
 - 発達障害に関する法律、定義、役割の解説
 - 第3期沖縄県発達障害者支援体制整備計画の解説
 - 第3期計画において市町村に求められる主な役割の解説
- 2 大人の発達障がい～理解と支援～（沖縄県発達障害者支援センター）
 - 発達障害の種類、症状、特性、疑似体験等の解説
 - 窓口対応で心がけたいこと（話の聞き方、伝え方、対応チェックリスト）
 - 沖縄県発達障害者支援センターの機能と役割

令和2年度 市町村職員向け発達障害関係研修について

＜実施結果＞

新型コロナウイルスの影響及び初のオンライン研修ということもあり、思うようにアンケートを収集することができなかったものの、受講者からの主な意見は以下のとおりであった。

1 研修内容について

- ① 沖縄県発達障害者支援センターの機能が理解できた。
- ② 市町村に求められる役割について、わかりやすかった。環境調整や対応の工夫を図ることが大事だと感じた。
- ③ 県の計画について、改めて理解することができた。また、対応の仕方について学ぶことができた。
- ④ 疑似体験として、絵や画像で示され、状況がわかりやすかった。
- ⑤ 実際の対応方法や考え方を学ぶことができた。
- ⑥ 発達障害を特性として受け止め、環境整備を図ることの重要性が認識できた。
- ⑦ 発達障害者の見え方・聞こえ方を知ることができた。
- ⑧ 既に知っている内容で、深みがなかった。

令和2年度 市町村職員向け発達障害関係研修について

2 実施方法・その他意見について

- ① オンライン研修が良かった。担当業務の中で、保育所から幼稚園、保育所から小学校の繋ぎがうまくいってないため、本研修の資料を見直して対応を検討したい。
- ② 支援者として、今後、自分に何ができるか考えていきたい。
- ③ 来所された方の待ち時間を少しでも減らし、担当に案内できればと思った。
- ④ 改めて、当事者の立場で考えるという基本に立ち返ることができた。資料を回覧して、課でも学習を続けていきたい。
- ⑤ 保健師として、大人の発達障害の理解と支援、相談支援体制の理解等を目的に参加しましたが、あまり理解が深まらなかった。

■ <次年度に向けて>

- オンライン研修は、新型コロナウイルスの感染拡大防止だけでなく、業務の都合に合わせた研修への参加が可能となること、離島等でも気軽に参加可能であること等から、次年度も同様に開催したい。
- 内容を明確化するとともに、他の発達障害に関する研修を案内する等、より理解を深めてもらえるような工夫をしていきたい。